

ランピースキン病に注意！

～ 疑わしい場合は、獣医師に連絡を ～

令和6年11月6日、福岡県の酪農場において、国内で初めてランピースキン病が発生しました。令和6年12月までに福岡県の18農場、熊本県の2農場の牛に、本病の発生が確認されています。疑わしい牛は隔離し、獣医師に連絡しましょう。

1 症状



発熱、鼻汁
全身の皮膚の結節
泌乳量の低下
リンパ節の腫大



写真提供:モンゴル国中央獣医学研究所



2 ランピースキン病とは？

本病は、ランピースキン病ウイルスによって引き起こされる牛や水牛の伝染病です。

主に、蚊、ハエ、ダニの媒介による機械的伝播や、感染した牛の移動により感染が拡大します。

感染した牛は、**全身の皮膚の結節や水腫、発熱、泌乳量の減少**などの症状を呈し、生産性に影響を及ぼします。

死亡率は高くなく、自然治癒しますが、本病を発症した牛の早期発見、隔離、移動の自粛、ワクチン接種等の総合的な防疫対策によって、本病の発生及び感染拡大を効率的かつ効果的に防止することが重要です。

また、本病は牛の病気であり、**人に感染することはありません。**

3 侵入防止対策

ポイント

(1) 毎日の健康観察

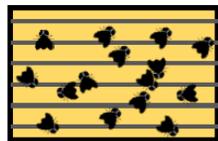
早期発見・早期連絡が重要。 牛の導入、出荷、移動時は健康観察を徹底。

(2) 害虫の駆除

殺虫剤の散布とともに、粘着シート等も活用。

(3) 清掃・消毒

衛生管理区域内の整理整頓を徹底し、飼養管理に使用する器具や畜舎等の施設は清掃と消毒を実施。



岩手県中央家畜保健衛生所
岩手県県南家畜保健衛生所
岩手県県北家畜保健衛生所

Tel:019-688-4111
Tel:0197-23-3531
Tel:0195-49-3006